

平成26年3月期第2四半期 決算説明会

平成25年11月18日

 SUMITOMO WAREHOUSE



目次

I. 平成26年3月期第2四半期決算の概要

ハイライト	1
I-1. 第2四半期決算の状況	2
I-2. セグメント別営業収益	3
I-3. セグメント別営業利益	4
I-4. 財政状態	5
I-5. キャッシュ・フローの状況	6

II. 平成26年3月期見通し

II-1. 業績の通期見通し	7
II-2. セグメント別営業収益・営業利益の通期見通し	8
II-3. セグメント別設備投資額・減価償却費の通期見通し	9
II-4. 主な設備投資案件	10

III. 中期経営計画への取組み

III-1. 中期経営計画の概要	11
III-2. 海外事業の拡充	12
III-3. 海外事業 トピックス	13
III-4. 国内物流事業の拡充	14
III-5. 国内物流事業 トピックス	15・16
III-6. 不動産事業への積極投資	17
III-7. CSRの取組み	18
III-8. 中期経営計画と本年度見通しの差異	19
III-9. 主な設備投資の見通し	20
III-10. 業績目標	21

補足資料

1. 保管用倉庫面積・保管残高	22
2. トランクルーム期末保管残高	23
3. 港湾運送取扱量	24
4. 国際輸送取扱量	25
5. 賃貸ビル面積	26



I .平成26年3月期第2四半期決算の概要



SUMITOMO WAREHOUSE



- 営業収益は前年同期比+4.0%、営業利益は△2.7%
- 営業収益・営業利益・経常利益・四半期純利益のいずれも、期初に開示の業績予想を上回る
- 営業収益、経常利益、四半期純利益のいずれも、過去最高額を記録
- 概ね計画通りに推移

I - 1 . 第 2 四半期決算の状況

(単位：百万円)

決算期	平成25年3月期 第 2 四半期		平成26年3月期 第 2 四半期		増 減	
	金 額	収益比	金 額	収益比	金 額	比 率
営業収益	76,869	100.0%	79,924	100.0%	3,054	4.0%
営業利益	5,062	6.6%	4,924	6.2%	△138	△2.7%
経常利益	5,544	7.2%	5,720	7.2%	176	3.2%
四半期純利益	3,189	4.1%	3,379	4.2%	189	5.9%
1株当たり四半期 純利益 (円)	17.89	-	18.93	-	-	-

営業収益	物流事業において国際輸送の取扱いが回復したことなどから、前年同期比4.0%の増収。
営業利益	不動産賃貸収入の減少や情報システム関連投資費用の増加等により、前年同期比2.7%の減益。
経常利益	為替差損益の改善や受取配当金の増加等により、前年同期比3.2%の増益。
四半期純利益	特別損益の改善もあり、前年同期比5.9%の増益。

I-2. セグメント別営業収益

(単位：百万円)

区 分	平成25年3月期第2四半期	平成26年3月期第2四半期	増	減
1. 物流事業	61,320	63,218	1,898	3.1%
①倉庫収入	11,125	11,192	67	0.6%
②港湾運送収入	18,426	17,928	△497	△2.7%
③国際輸送収入	12,705	15,194	2,488	19.6%
④陸上運送ほか収入	19,063	18,902	△160	△0.8%
2. 海運事業	11,158	12,458	1,299	11.6%
⑤海運事業収入	11,158	12,458	1,299	11.6%
3. 不動産事業	4,906	4,778	△128	△2.6%
⑥不動産事業収入	4,906	4,778	△128	△2.6%
計	77,385	80,454	3,069	4.0%
セグメント間内部営業収益	△515	△530	△14	△2.9%
純営業収益	76,869	79,924	3,054	4.0%

①倉庫収入	入出庫の取扱いは前年同期を下回ったものの、文書等情報記録媒体及び配送センター業務を中心に貨物保管残高が堅調に推移したことにより増収。
②港湾運送収入	コンテナ荷捌は概ね前年同期並みとなったものの、一般荷捌は輸入貨物の取扱いが減少したため減収。
③国際輸送収入	一貫輸送は東南アジア及び欧州関連を中心に順調な取扱いとなり、航空貨物の取扱いやプロジェクト輸送も回復したほか、円安も寄与し増収。
④陸上運送ほか収入	物流施設賃貸収入は前年同期を上回ったものの、国内貨物の荷動きの減少により陸上運送収入が減少したことにより減収。
⑤海運事業収入	林産品を中心に前年同期を下回る取扱いとなったものの、円安が寄与し増収。
⑥不動産事業収入	テナントの新規入居等が寄与したものの、一部の賃貸物件において賃料改定を実施したことにより減収。

I - 3. セグメント別営業利益

(単位:百万円)

区 分	平成25年3月期 第2四半期	平成26年3月期 第2四半期	増 減	
1. 物流事業	4,091	4,090	△0	△0.0%
2. 海運事業	103	257	153	147.5%
3. 不動産事業	2,768	2,674	△93	△3.4%
計	6,963	7,021	58	0.8%
調整額	△1,900	△2,097	△196	△10.4%
純営業利益	5,062	4,924	△138	△2.7%

物流事業	営業収益は増収となったが、作業諸費や人件費等の増加により前年同期並みにとどまる。
海運事業	営業収益の増収に加えて、傭船料や燃料油価格が低下したほか、経費の削減に努めたことにより、前年同期に比べ大幅増益となる。
不動産事業	一部の賃貸物件において賃料改定を実施したことなどから、前年同期比3.4%の減益。

I - 4 . 財政状態

(単位:百万円)

区 分	平成25年3月期末	平成26年3月期 第2四半期末	増 減 額
総 資 産	263,931	282,426	18,494
負 債	123,634	128,757	5,123
純 資 産	140,297	153,669	13,371
(うち少数株主持分)	(6,465)	(6,728)	262
自己資本比率	50.7%	52.0%	-
1株当たり純資産	749.60円	822.77円	73.17円

総 資 産	株式相場の上昇に伴う「投資有価証券」の増加や、「土地」の取得等により、前期末比7.0%増加。
負 債	その他有価証券評価差額に係る「繰延税金負債」の増加等により、前期末比4.1%増加。
純 資 産	投資有価証券の時価上昇に伴う「その他有価証券評価差額金」の増加や四半期純利益の計上による「利益剰余金」の増加により、前期末比9.5%増加。



I-5. キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

区 分	平成25年3月期 第2四半期	平成26年3月期 第2四半期	増 減 額
営業活動によるCF	6,980	6,942	△38
投資活動によるCF	△7,717	△5,668	2,048
財務活動によるCF	△9,525	△1,358	8,167
現金及び現金同等物四半期末残高	12,646	17,129	4,482

営業活動によるCF	税金等調整前四半期純利益及び減価償却による資金の留保等により、69億4千2百万円の増加となる。
投資活動によるCF	有形固定資産の取得による支出等により、56億6千8百万円の減少となる。
財務活動によるCF	借入金の返済及び期末配当金の支払い等により、13億5千8百万円の減少となる。

Ⅱ.平成26年3月期見通し



SUMITOMO WAREHOUSE



Ⅱ-1. 業績の通期見通し

(単位：百万円)

決算期	平成25年3月期実績		平成26年3月期見通し		増 減	
	金 額	収益比	金 額	収益比	金 額	比 率
営業収益	156,422	100.0%	159,000	100.0%	2,577	1.6%
営業利益	10,201	6.5%	9,900	6.2%	△301	△3.0%
経常利益	11,151	7.1%	10,900	6.9%	△251	△2.3%
当期純利益	6,222	4.0%	6,500	4.1%	277	4.5%
1株当たり当期 純利益 (円)	34.89	-	36.45	-	-	-

営業収益	<p>日本経済は、政府による財政政策及び日銀による金融政策により輸出や個人消費が上向くなど、景気の回復感が強まってきており、海外では米国において緩やかな景気回復基調が続き、また欧州においても景気回復の兆しが見える一方、中国や東南アジアではやや足踏み状態であることなどを織り込み、物流事業と海運事業は増収増益を予想する。一方、不動産事業において一部の賃貸物件において賃料改定を実施したことや、リニューアル工事を実施していることにより、減収減益を見込む。以上から、営業収益は1.6%増収、営業利益3.0%減益、経常利益2.3%減益、当期純利益4.5%増益を予想。</p>
営業利益	
経常利益	
当期純利益	

Ⅱ-2. セグメント別営業収益・営業利益の通期見通し

営業収益

(単位：百万円)

区 分	平成25年3月期 実績	平成26年3月期 見通し	増	減
1. 物流事業	124,084	126,000	1,915	1.5%
2. 海運事業	23,588	25,000	1,411	6.0%
3. 不動産事業	9,778	9,000	△778	△8.0%
計	157,451	160,000	2,548	1.6%
セグメント間内部営業収益	△1,029	△1,000	29	2.8%
純営業収益	156,422	159,000	2,577	1.6%

営業利益

(単位：百万円)

区 分	平成25年3月期 実績	平成26年3月期 見通し	増	減
1. 物流事業	8,290	8,700	409	4.9%
2. 海運事業	254	600	345	136.2%
3. 不動産事業	5,467	4,700	△767	△14.0%
計	14,011	14,000	△11	△0.1%
調整額	△3,809	△4,100	△290	△7.6%
純営業利益	10,201	9,900	△301	△3.0%

Ⅱ-3. セグメント別設備投資額・減価償却費の通期見通し

設備投資額

(単位：百万円)

区 分	平成25年3月期 実績	平成26年3月期 見通し	平成26年3月期	増 減
			第2四半期実績	
1. 物流事業	3,636	5,700	2,695	2,063
2. 海運事業	4,599	100	21	△4,499
3. 不動産事業	3,359	6,000	2,273	2,640
計	11,595	11,800	4,989	204
4. 全社	838	400	185	△438
連 結	12,434	12,200	5,174	△234

減価償却費

(単位：百万円)

区 分	平成25年3月期 実績	平成26年3月期 見通し	平成26年3月期	増 減	
			第2四半期実績		
1. 物流事業	3,823	3,800	1,824	△23	△0.6%
2. 海運事業	442	500	247	57	13.1%
3. 不動産事業	1,833	1,850	871	16	0.9%
計	6,099	6,150	2,943	50	0.8%
4. 全社	873	850	451	△23	△2.7%
連 結	6,973	7,000	3,394	26	0.4%

Ⅱ-4. 主な設備投資案件

区 分		平成26年3月期 第2四半期	平成26年3月期 (通期見通し)
物 流	大阪・南港地区土地取得及び倉庫建設工事 工期：H26.3～H27.4(予)	10.7億円	26.9億円
	本牧埠頭コンテナターミナル荷役機器	—	7.1億円
	遠州トラック関連	7.2億円	9.4億円
不 動 産	淀屋橋ミッドキューブ建設工事（大阪市中央区） 工期：H25.4～H26.3(予)	11.8億円	23.7億円
	東京住友ツインビル西館リニューアル工事 （東京都中央区） 工期：H25.11～H26.6(予)	—	17.0億円
	東京住友ツインビル中期保全工事（同上） 工期：H23～H32(予)	6.5億円	7.8億円



Ⅲ. 中期経営計画への取組み



SUMITOMO WAREHOUSE



Ⅲ-1. 中期経営計画の概要

海外事業の拡充（物流＋海運）

経営基盤の一層の強化

- ・グループ会社の効率的運営による総合力発揮
- ・国際感覚を備えた創造力豊かな人材の育成
- ・コンプライアンスの徹底とリスク管理体制の強化
- ・地球環境保全への積極的取組み

国内物流事業の拡充

不動産事業への積極投資

成長戦略を実現する設備投資計画

（中計期間投資額） **700** 億円*

*システム・地球環境保全等40億円を含む



Ⅲ-2. 海外事業の拡充 (物流+海運)

海外売上高の推移
(計画)

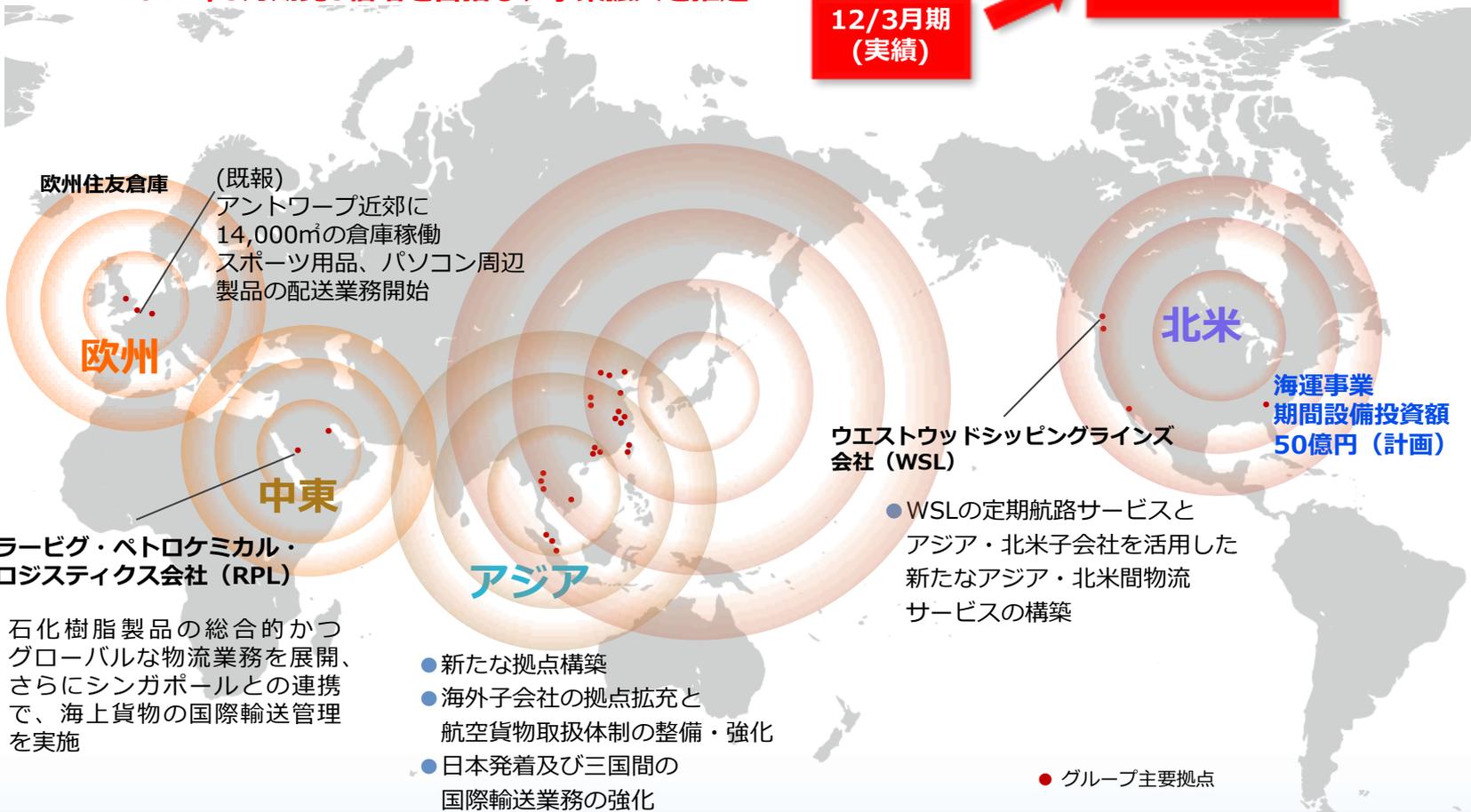
第二次中期5か年経営計画 (2013年3月期～2017年3月期)

**2017年3月期海外売上高
2012年3月期比3倍増を目指し、事業拡大を推進**

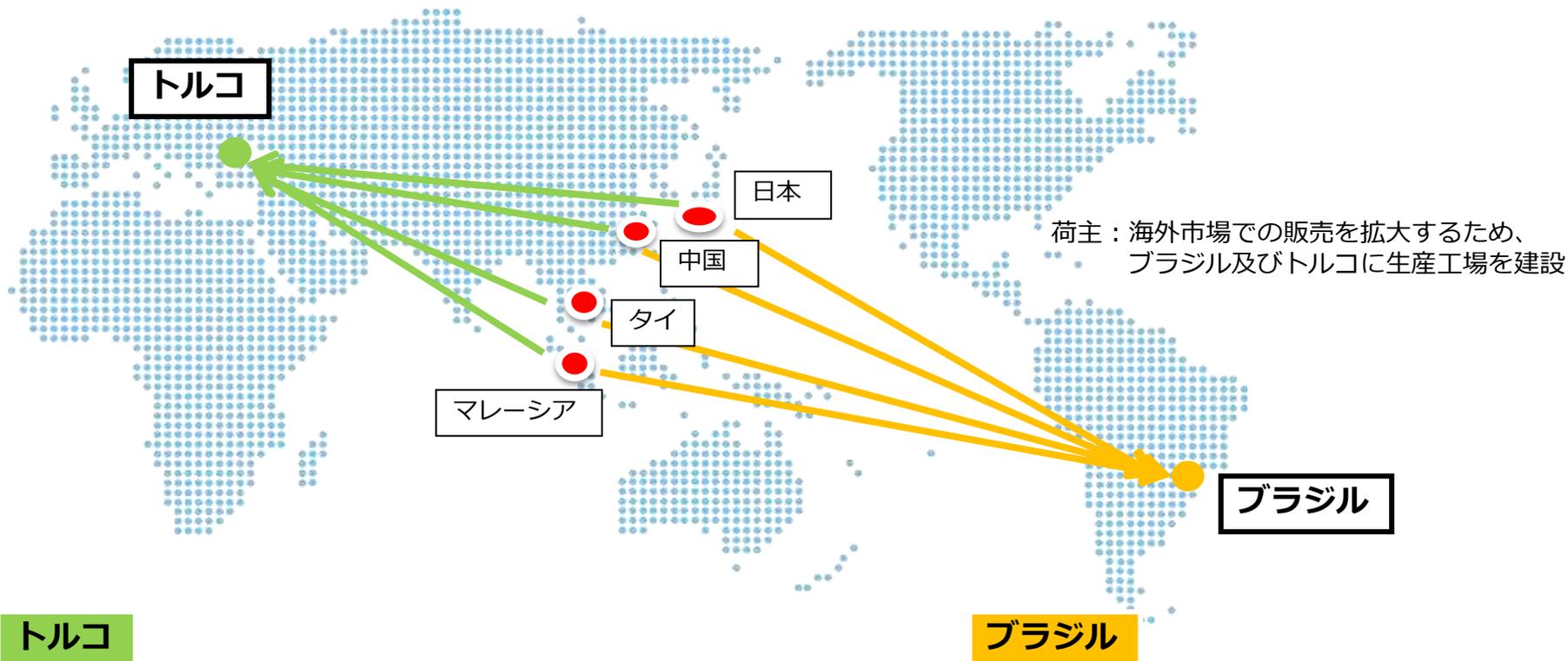
3倍

**12/3月期
(実績)**

**17/3月期
(計画)**



ブラジル及びトルコ工場向け 国際一貫輸送業務



STEP 1：工場建設に伴う設備輸送

工場建設に伴う設備輸送

STEP 2：トルコ国内業務

原料の輸入業務、製品の輸出入業務、
工場内倉庫構内作業の受命に向けて取組みを継続





Ⅲ-4. 国内物流事業の拡充

第二次中期5か年経営計画（2013年3月期～2017年3月期）

拠点の拡充
総合物流機能の向上

物流事業 期間設備投資額
250億円（計画）

大阪南港エリア拠点拡充

多様なニーズに対応可能な新倉庫建設
2015年4月竣工（予定）

★トピックス1

羽生アーカイブセンター第2センター
保管能力拡大に向けた取組みを継続

遠州トラック(株)による3PL事業

総合食品流通業の物流センター業務及び
幹線輸送業務を受命

★トピックス2



大阪港南港地区における新倉庫建設

免震構造を採用し、非常用電源を設置するなど災害に強い倉庫仕様

当社（国内約70か所）の物流施設の中で最大級の延べ床面積

全館LED照明を採用する等、環境負荷の低減

[施設の概要]

- 所在地 大阪市住之江区南港北2丁目8番4号
- 敷地面積 12,692㎡(3,839坪)
- 構造 鉄筋コンクリート造5階建て、免震構造
- 延べ床面積 30,673㎡(9,278坪)
- 着工 2014年3月(予定)
- 竣工 2015年4月(予定)

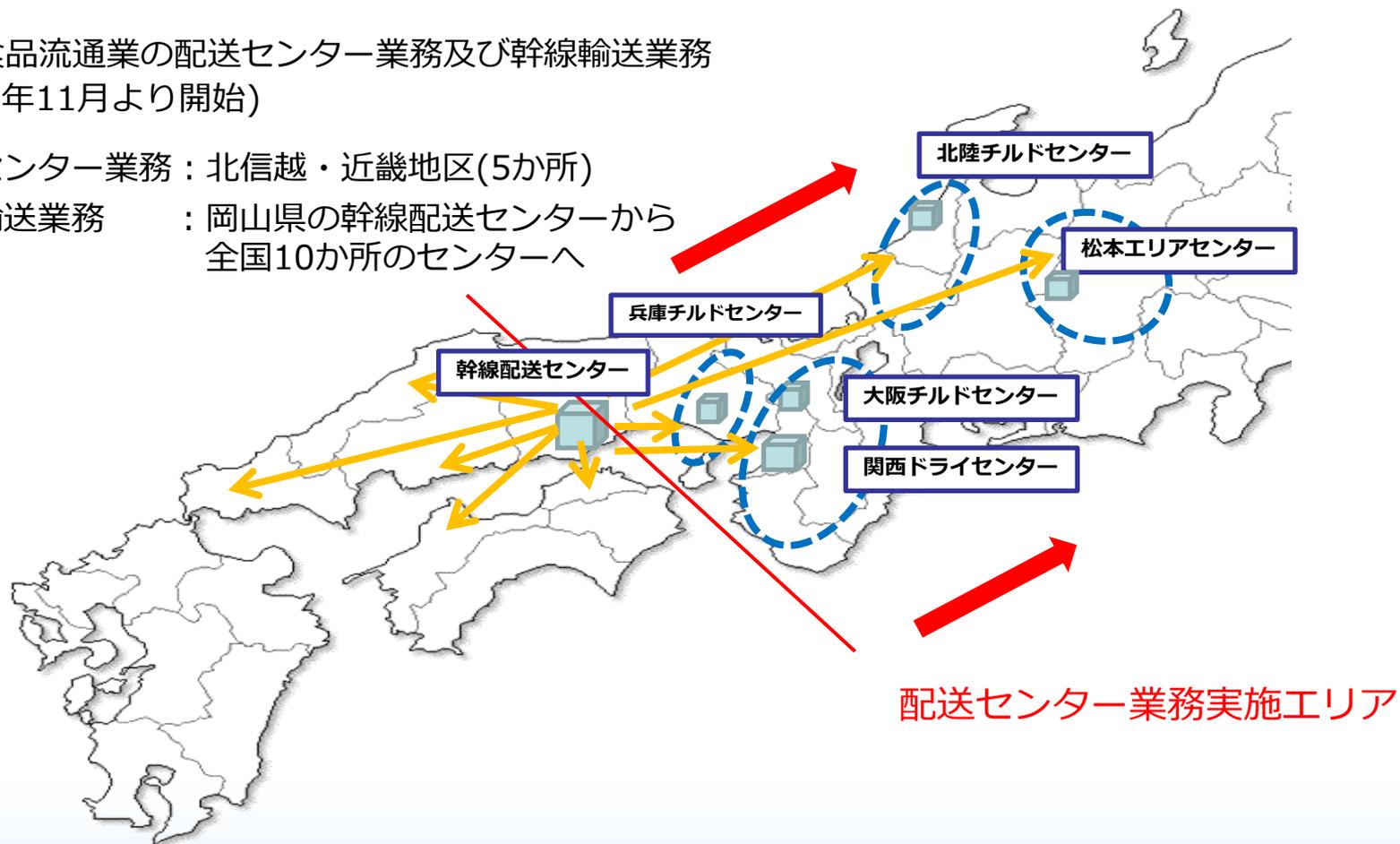


(完成予想図)

遠州トラック(株)における3PL事業

[事業の概要]

- ・内容 総合食品流通業の配送センター業務及び幹線輸送業務
(2013年11月より開始)
- ・エリア 配送センター業務：北信越・近畿地区(5か所)
幹線輸送業務：岡山県の幹線配送センターから
全国10か所のセンターへ





Ⅲ-6. 不動産事業への積極投資

第二次中期5か年経営計画（2013年3月期～2017年3月期）

所有倉庫用地での新規施設建設
首都圏の事業基盤の強化

不動産事業 期間設備投資額

360億円（計画）

淀屋橋ミッドキューブ テナント決定

[施設の概要]

- ・所在地 大阪市中心区北浜4丁目
- ・建物概要 鉄骨造 地上10階 地下1階
- ・竣工予定 2014年3月



(完成予想図)

戸田駅前再開発プロジェクト

東京住友ツインビル東館 テナント増床

テナントからの増床要請に伴い、
2014年4月から約800坪の賃貸を開始(予定)



南堀江地区再開発プロジェクト

首都圏の事業基盤強化

東京・ビジネス地区(都心5区)を
中心に不動産を購入



大阪ひかりの森プロジェクトに参加

[プロジェクトの概要]

- ・ 事業内容 大阪市夢洲の廃棄物埋め立て処分場を有効活用し、環境及び地域社会に貢献することを目的としてメガソーラーを設置し、太陽光発電を実施
- ・ 実施主体 大阪市
住友商事(株)
三井住友ファイナンス&リース(株)
サミットエナジー(株)

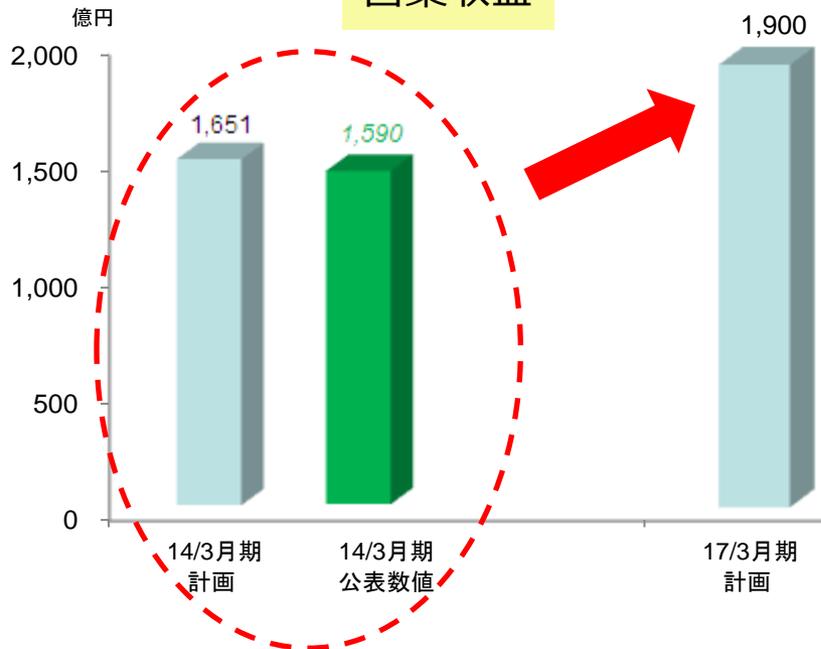


(夢洲の全景)

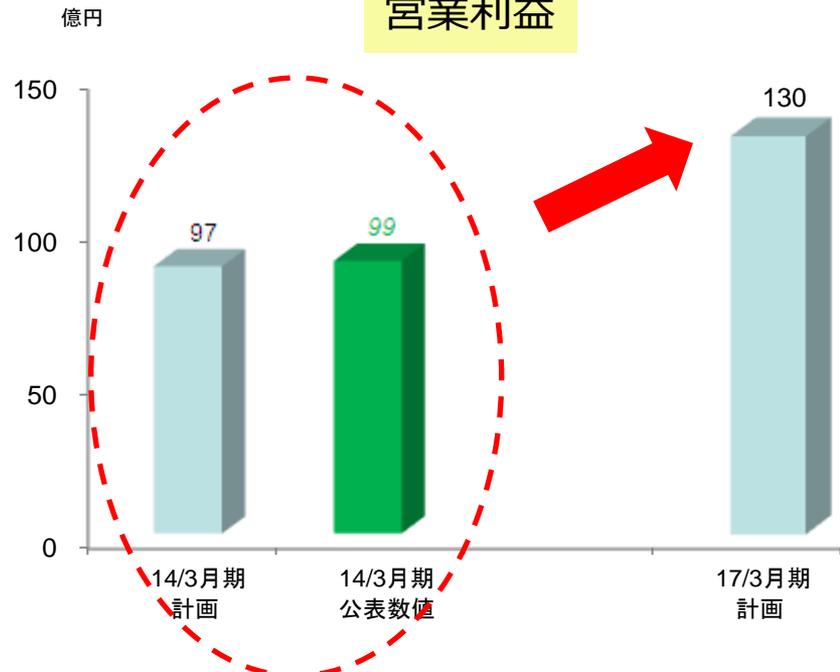
- ・ 参加企業数 当社を含め9社
(当社は全体の1/20、出力500kW相当分の権利を保有)
- ・ 実施期間 2013年10月～2033年9月までの20年間

Ⅲ-8. 中期経営計画と本年度見通しの差異

営業収益



営業利益



<本年度の計画対比増減要因>

営業収益は物流において荷動きの回復が鈍く、当初計画比で未達の状況であるものの、営業利益は倉庫保管残高が高水準で推移したことや、不動産においても落込み幅が当初計画を下回ったこと等からほぼ想定通りで進捗

Ⅲ-9. 主な設備投資の見通し

	《物流》			《不動産》				《海運》	
	大阪 南港新倉庫	埼玉 羽生AC2 第Ⅱ期倉庫	名古屋 弥富新倉庫	大阪 淀屋橋 ミッドタワー	首都圏での 事業基盤強化	埼玉 戸田駅前 再開発	大阪 南堀江地区 再開発	ガントリークレーン付 多目的船 2隻購入	
13/3 月 期									
14/3 月 期									
15/3 月 期									
16/3 月 期									
17/3 月 期									



 中計策定時の
見通し

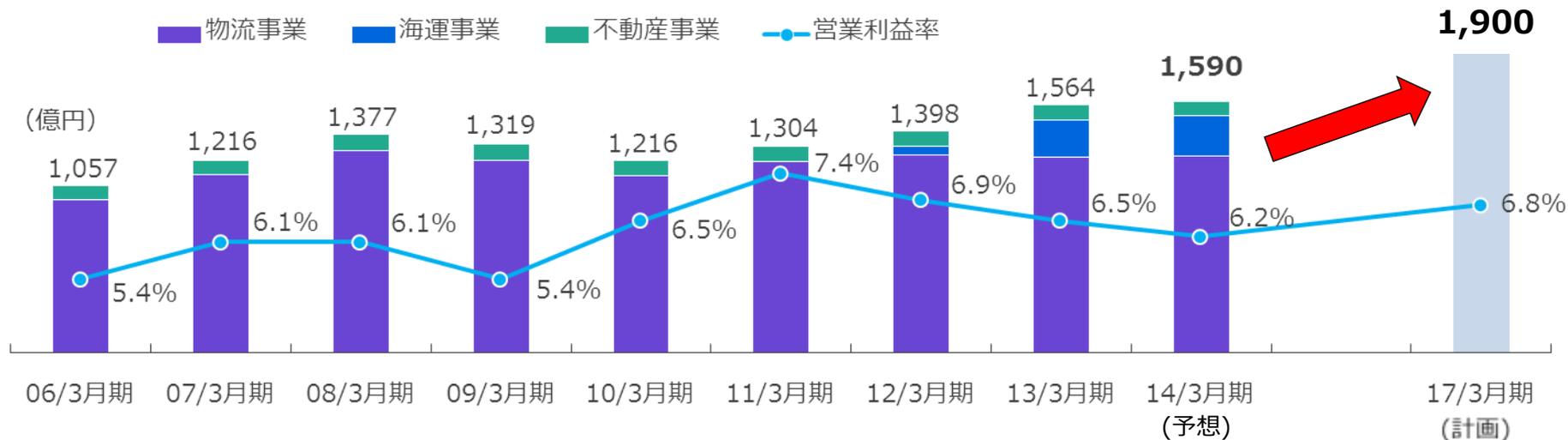


 現在の見通し

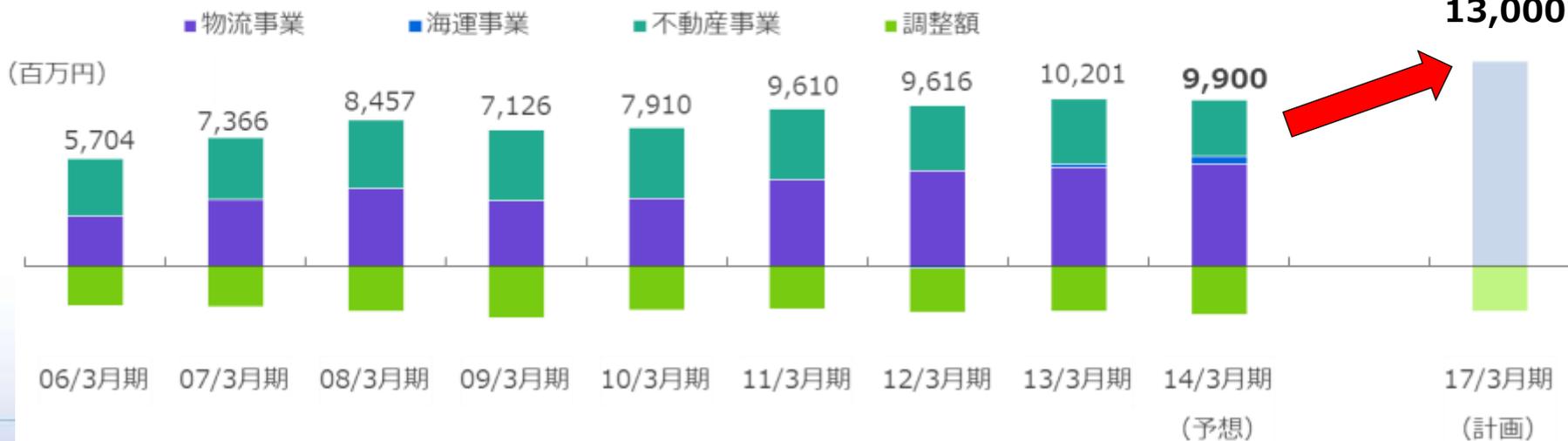


Ⅲ-10. 業績目標

営業収益



営業利益



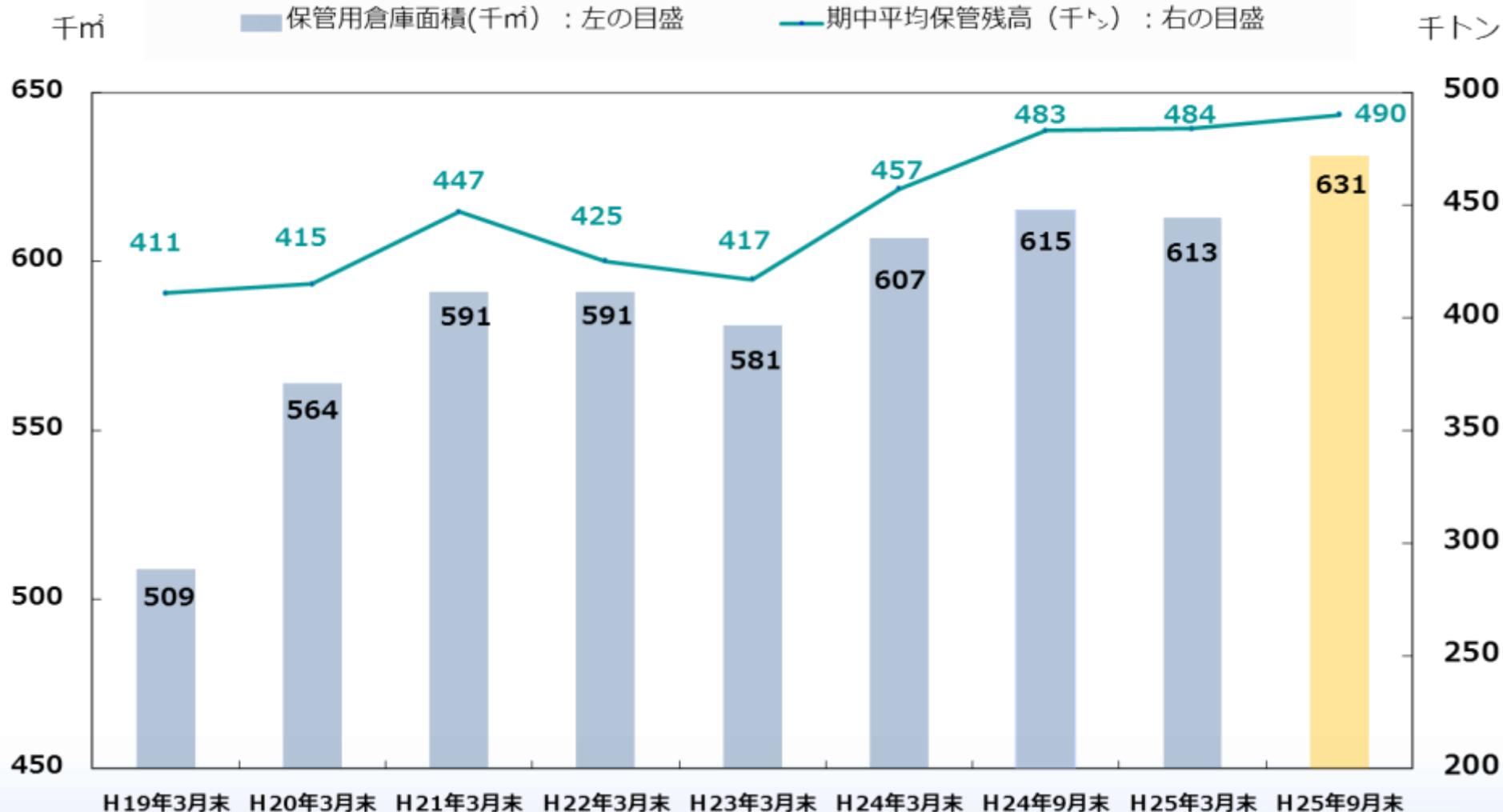
補 足 資 料



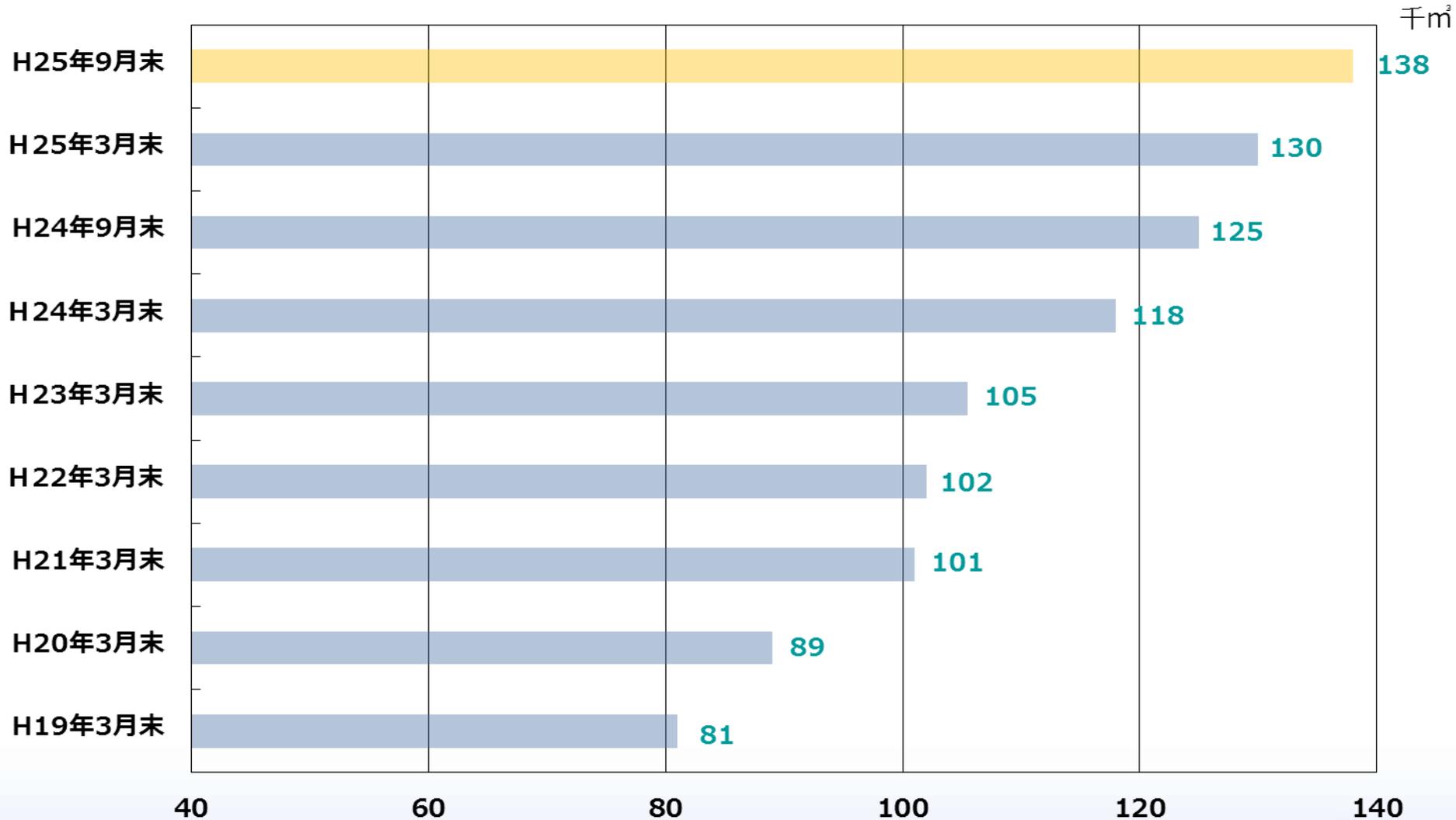
SUMITOMO WAREHOUSE



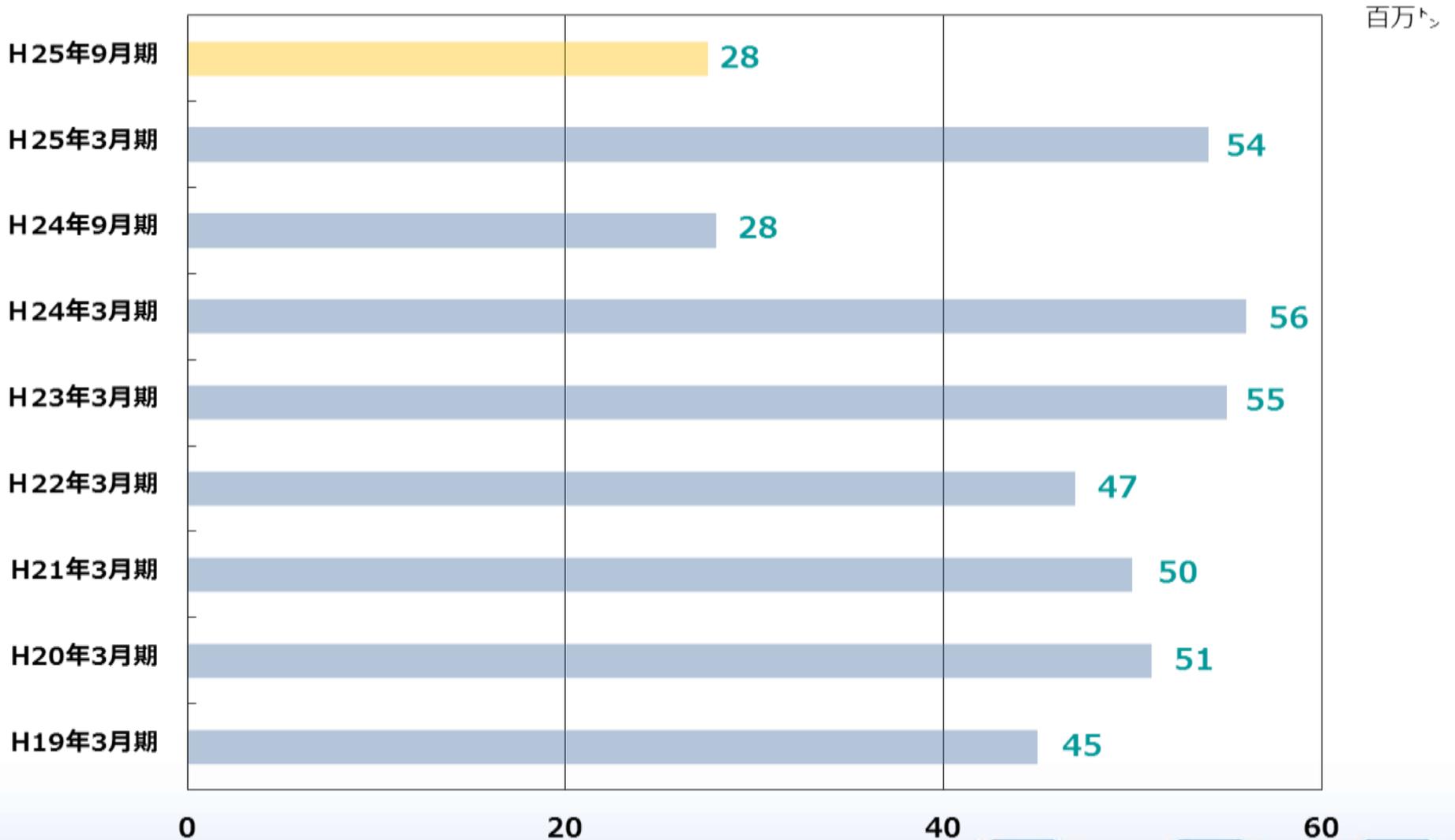
1. 保管用倉庫面積・保管残高



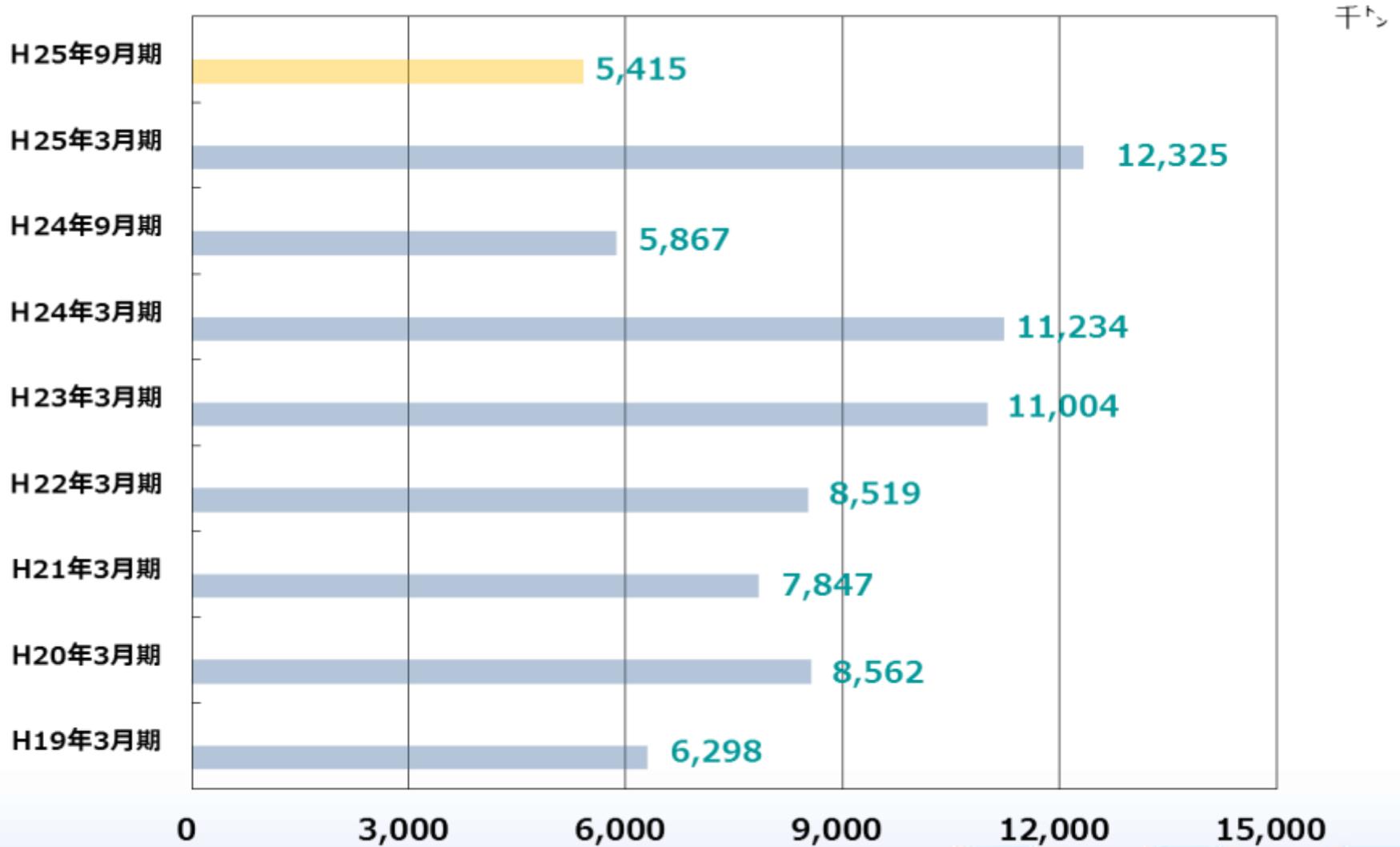
2. トランクルーム期末保管残高



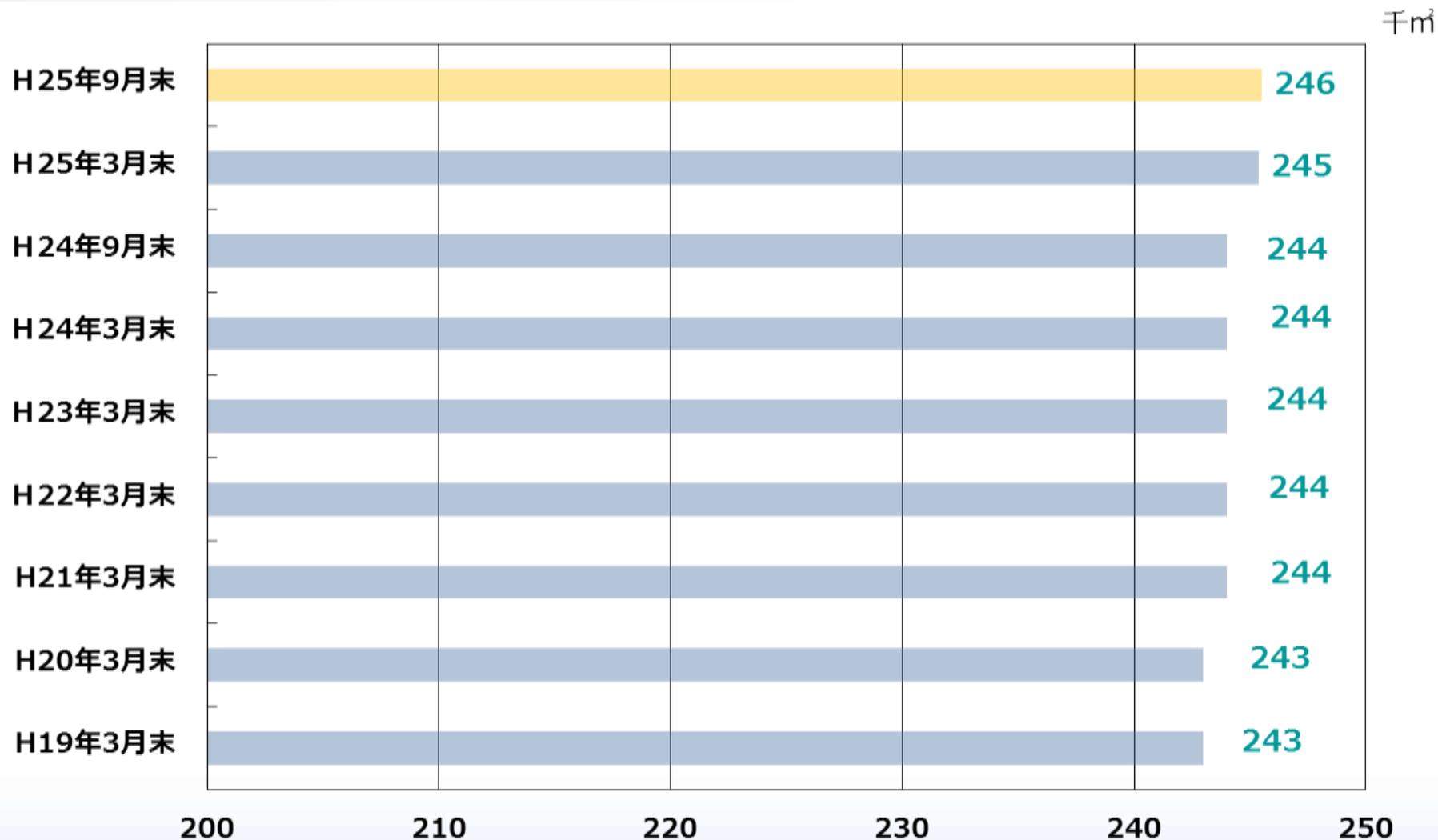
3. 港湾運送取扱量



4. 国際輸送取扱量



5. 賃貸ビル面積



本日はありがとうございました。



Best Synergy & Best Solution



< I Rに関する連絡先 >

株式会社住友倉庫 事業推進部広報IR課
〒550-0021 大阪市西区川口2-1-5
TEL : 06-6581-1104 FAX : 06-6581-3870
Mail : ir_bx@sumitomo-soko.co.jp
HP : <http://www.sumitomo-soko.co.jp/>